

中期経営計画

ニチレイグループは、2019年度から2021年度までの3年間を対象期間とする、グループ中期経営計画「WeWill 2021」をスタートしました。

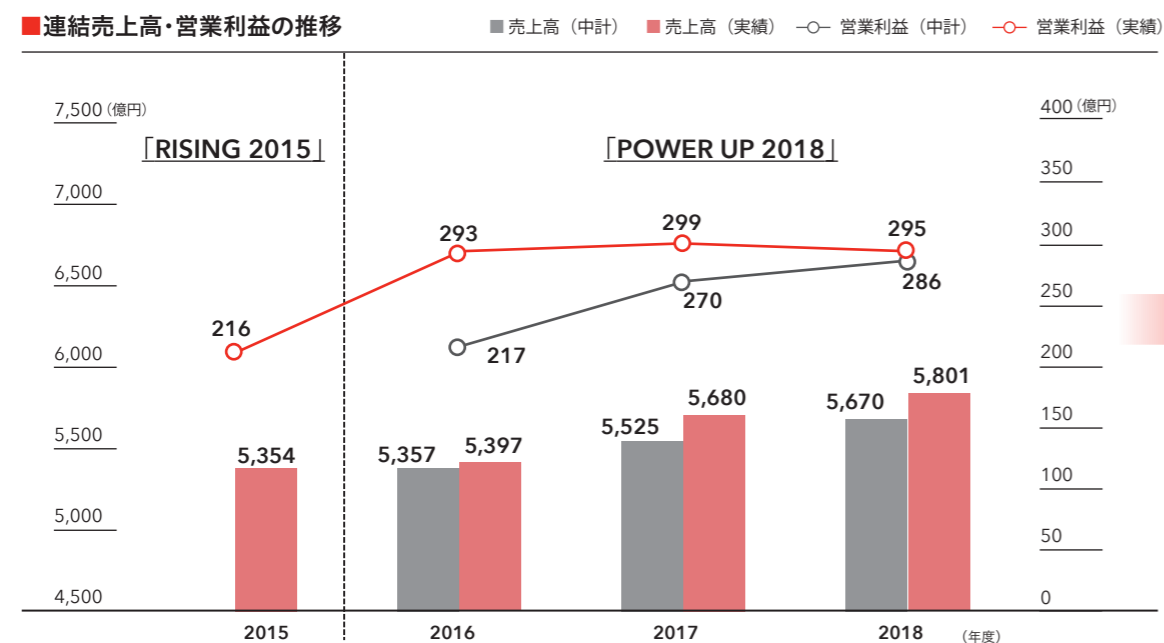
「WeWill 2021」の推進によって、主力事業の更なる強化を進め、厳しい経営環境下においても着実な成長を目指します。

「POWER UP 2018」

中期経営計画 WeWill 2021

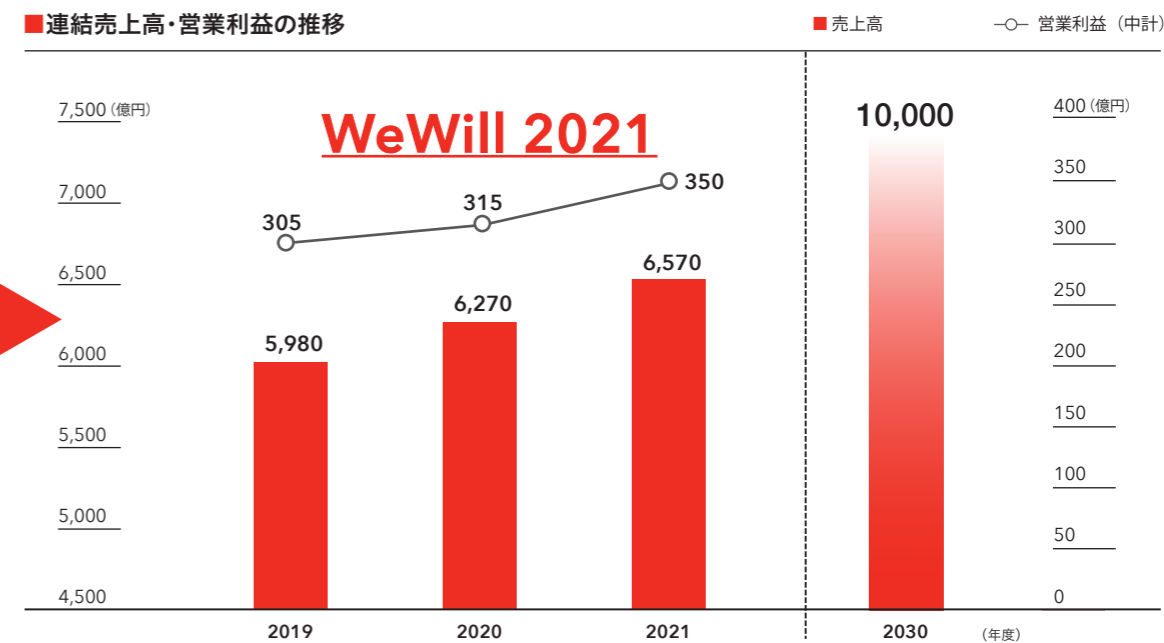
売上拡大などによりコスト増加を吸収し利益水準が大幅に向上

加工食品事業における主力商品の収益拡大、低温物流事業における大都市圏を中心とした保管需要の取込み、畜産事業における差別化商品への経営資源のシフトを通じた利益率向上などにより、2018年度は連結目標数値(2016年11月発表の修正後計画)を上回る成果をあげることができました。一方で、海外事業の規模拡大に課題を残しました。



国内の収益力向上と海外事業拡大により持続的な成長を目指す

世界経済の不安定性が増すなか、原材料費や人件費といったコストの上昇、消費形態の多様化など、経営環境の変化を的確にとらえながら、加工食品事業と低温物流事業を中心に成長および基盤強化に向けた設備投資を実施し、「持続的な利益成長」と「豊かな食生活と健康を支える新たな価値創造」の実現を目指します。



▶ 成果

- 加工食品事業は、主力商品の拡販などによる国内事業の採算性向上
- 低温物流事業は、集荷拡大や運送収支の改善
- 畜産事業の利益水準の向上

▶ 課題

- グループ全体のさらなる利益水準の向上
- 外部環境の変化やコスト上昇への対応
- 海外事業の規模拡大
- 水産事業の利益安定化

▶ 持続的な利益成長

国内	経営基盤の強化や事業構造の 変革による収益力向上	①加工食品事業の継続成長や低温物流の安定拡大 ②主力事業のさらなる競争力強化に向けた資源配分を実施 ・国内、海外での成長投資 ・環境対応など基盤強化への投資
海外	事業規模拡大を加速	③研究開発や新規事業開発、業務革新の取り組みに注力

▶ 資本効率の向上と株主還元の充実 → ROE10%以上の維持と配当基準の見直し

▶ 豊かな食生活と健康を支える新たな価値創造 → 事業を通じた社会課題の解決

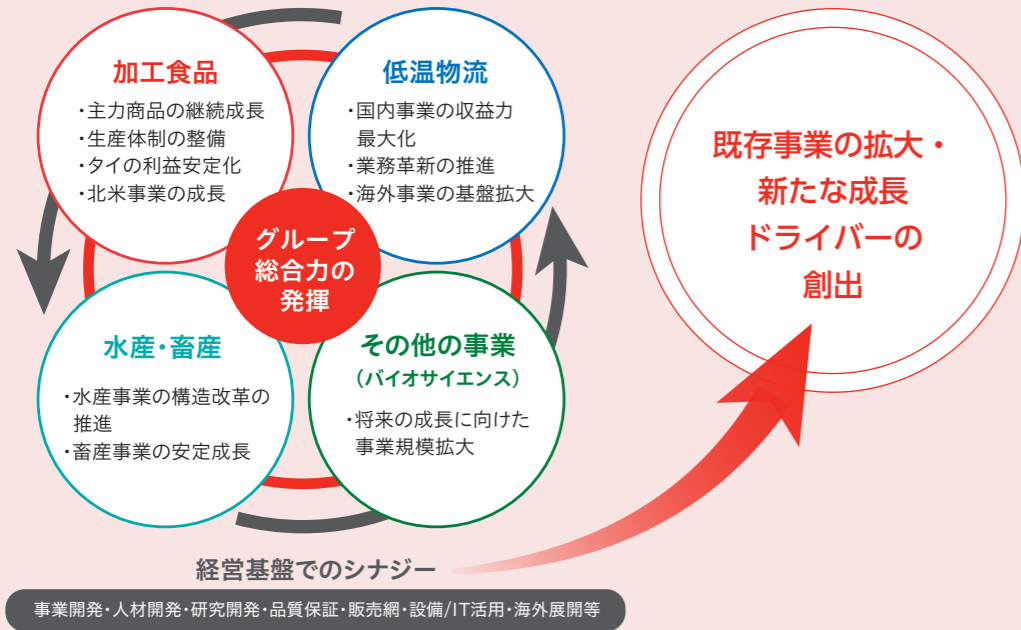
WeWill 2021 戦略の概要

経営を取り巻く環境変化に対応できる強固な収益基盤づくりをはじめ、次代の成長のための新たなエンジンとなる新規事業の創出、また社会的要請に応えつつ、企業の経済的価値を向上させるための取り組みなどを通じて、持続的な成長を目指します。

「2030年の姿」の達成

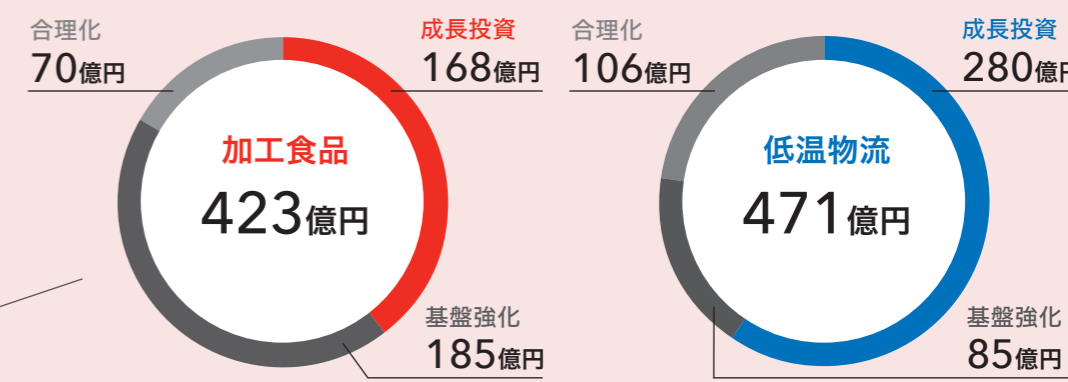
事業戦略 | グループ総合力を発揮し、新たな顧客価値を創出

ニチレイグループ各社が持つノウハウや人材・設備などのリソースの共有を促進し、環境変化に対する効率的な対応を可能とすることで、お客様への利便性を高め、ニチレイグループならではのサービスや商品を提供できる体制を構築します。



中期経営計画2019-2021年度 WeWill 2021

投資戦略 | 持続的な成長に必要な資源配分を実施



- 競争力強化への積極的な設備投資
 - ・国内、海外での成長投資の実施
 - ・設備の長期利用や効率化、環境対応など基盤強化への投資を継続
 - ・業務革新の取り組みを強化
- 長期的視点での取り組みを強化
 - ・研究開発や新規事業開発に注力し、新たな成長ドライバーの創出に取り組む

財務戦略 | 配当基準を見直し株主還元の充実を図る

営業キャッシュ・フローと資産流動化により創出された資金は、企業価値の維持向上のための投資と配当や自己株式の取得を通じた株主還元に向けられます。株主還元については、連結自己資本配当率(DOE)を基準として安定的な配当を継続するとともに、資本効率や市場環境などを考慮のうえ自己株式の取得を機動的に実施することを基本方針とします。

営業CF 3年間累計	1,300億円
ROE	10%以上を維持
配当金	目標 DOE 2.5% → 3.0%

ESG | 事業を通じた社会課題解決の取り組み

CSR基本方針「ニチレイの約束」に基づき、事業を通じて「豊かな食生活と健康を支える新たな価値創造」に取り組むことにより社会課題を解決し持続可能な社会の実現に貢献します。

- ▶ 新たな顧客価値の創造
- ▶ 安全な商品とサービスの提供
- ▶ 持続可能なサプライチェーンの構築
- ▶ 環境負荷の低減・気候変動への対応
- ▶ コーポレートガバナンスの充実

